京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金[illegible]▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郞
京城西署西小門通(電話六六三)
發行所 京城新報社

百萬人傳道

護教記者

百萬人傳道なる問題は目下世間の注意を惹いて居る、左は三月十九日發行護教と題する宗教新聞に掲載されたものである、時節柄參考にもと茲に轉載する。

韓國には「百萬人傳道」と稱する大舉傳道が舉行されて居る、其起原は祈禱と聖書研究とである、今から半年程以前開城にある宣教師の小團は傳道に能力の足らざることを切に感じ一週間連夜祈禱會を開き神の語をも研究して居た第四日目には夜半まで祈禱會を續け一先閉會の後ち三人の宣教師は跡に殘り翌朝四時まで祈つた、當時神の靈は著るしく彼等の上に降り大なる平和と愛とに滿たされ今後韓國傳道の爲めに益祈らんとの熱情燃ゆるが如きものがあつた。

數日を經て其三人の宣教師――リード博士、ストークス氏、ガンブル氏――は終日祈禱會を開いたが、三人の祈つて居る時、俄に聖靈は其室に滿ちガンブル氏はキリストが立て兩手を伸ばし韓國を祝して居らるゝを見たと云ふ、其後三人の宣教師と外に開城に居る二名の宣教師とは附近の山に入り其處の寺院に籠りて數日間祈禱をした、而して韓人を救はんとする熱情は益す熾んになつた。

さてストークス氏は村落傳道の途次、或る地方で韓人に向つて一年内に五万人の信者を作るよう祈り且つ働かんことを勸めたが、漸次これに贊同するものが多くなり、多數を目標として傳道する案は京城に於て開かれたる南美以教會の年會に提出せられ、其處にて「二十万人を基督に獻ぐ」と云ふ標語を採用するに至つた、リード博士は南メソヂスト教會の決議を韓國福音主義教會の宣教師會議に報告したるに其會議では早速委員を設け、韓國にある『ミツシヨン』は一致して之と同じ傳道法を採用するの可否を研究せしめた結果一年内に一百萬の信徒を作ることを諸教派合同して神に祈ることに決した、是れ實に昨年十月九日である。

宣教師會議で右の動議を通過して五六時間を經たぬ中にチャプマン、アレキサンダーの一行が東洋巡廻の途次京城に着いた、そこで豫定の計畫の通り五日間外國宣教師及び韓人の爲に特別の集會を開いたが、之に出席した者は彼の『百萬人傳道』に新しき信仰と勇氣とを得た、一行中の作歌者ハークネス氏は『百萬人傳道』に感ずる所ありて『百万人をイエスにさゝぐ』と題する讃美歌を新作して自ら譜に上した、今日は其が韓語に翻譯せられ教會にも家庭にも廣く用いられて居る、其から懐中聖書同盟も今回の活動に關つて大に力がある、英國聖書會社は此活動のために一人の專任代理人を置いた。

『百萬人傳道』は韓國の覺醒を意味して居る、世界の基督信徒は此未曾有の活動の爲に祈らねばならぬ、特に日本の信徒の祈禱を要する。

序に此活動には韓國に於て一千人の日本人を基督に獻ぐると云ふことが目標の一となつて居る、聞く所に據れば昨年宣教師會議の節、日本人間の傳道に派遣せられたる長老派のコルテス氏は日本人の傳道を躊躇して其標準を五百人とせんとする考であつたが思ひ切つて千人の爲に祈る事になつたさうである、又この種の活動に對しては兎角誤解の生じ易いものである、既に韓國にても大分心配して居るものがあるようである、しかし前にも言つた通り其起原は全く宗教的で何等政治上の關係は無い、又其運動が極めて秩序的に愼重に行はれて居る、其結果を斷ずることは尙早いと思ふが、我輩は其成功を信じて疑はぬのである。

金巾輸入狀況(完)

(關稅局の調査)

和洋兩金巾の過去に於ける增減の大要は右の如し以下更らに其輸入の現狀を比較すれば昨年度總輸入額五百五萬七千三百圓中和金巾は其三割六步にして洋金巾は六割四步を占む而して此割合は現時に於ける輸入狀況と見て大差なし即ち和金巾は過去十年間に於て六倍强の增加をなし洋金巾は一倍半弱に上るを以て增加率に於て和金巾は遙かに優ると雖も輸入額に於ては未だ及ばず和金巾は普通十六封度內外にして外見較々粗惡なるも堅牢にして且價格安き點に於て優るを以て中流以下に需要多く洋金巾は種類多きも十封度乃至十三封度のもの最も多く比較的高價なるも外見美なるを以て概して中流以上の韓人に消費せらる次に消費の地方を見るに京畿忠淸南北及黃海道の主なる消費地方に於ては今や和洋金巾の混戰狀態にして其勝敗未だ知る能はざるも和金巾は漸次美國製「シーチング」及生金巾の販路を侵せるが如し然れば晒金巾に至りては其品質大に異なるを以て和金巾の侵蝕を受くることなく需要益々增加の傾向なり全羅南道慶尙南北道地方は殆んど洋金巾の獨占市場にして和金巾は全然無勢力なり南北咸鏡道及江原道地方に於ては和金巾は勢力微弱にして遙かに洋金巾に及ばず平安南北道に於ては和金巾優勢にして洋金巾を壓す而して其取扱業者は和金巾は全く日本人にして洋金巾に於ても南韓北韓及平安道方面にては日本人勢力を占むるも京仁の中央市場に在りては殆んど全部淸商の取扱に係る更らに輸入取扱の狀況を見るに和金巾は主なる紡績會社に於て特別販賣店を有し之をして輸入販賣を掌らしめ洋金巾は其輸入の大部は淸商之れを上海より延取引を以て時の相場に依り購求し又日本人の取扱に係るものは神戶長崎の外國商の手を經或は直接美國より輸入するものとす

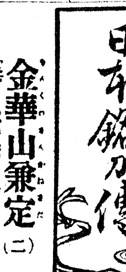
碧蹄館行き(三)

伊豫之守

▲歸路に着く 廣田文學士の講演は專門家だけに最も新らしき調査に依つたる事とて、吾輩等が日本外史や其他學校の先生達より聽いて居た談しと大分相違せる處もあり意外に新智識を得て鮮なからず利益を得た、講演が終つて歸路に着いたのが午後四時、最初吾輩等の馬車連は歸路は鐵道に取る筈であつた、處が豫想と違つて同地から一山驛(豫定乘車驛)までは優に三里はある、先きに此道を取つて來た百餘名の連中は何れも其難路なるを訴ふ、殊に當日の總大將屬田中半四郎氏は口を極めて鐵道を排斥する、茲に於て衆議忽ち一決し、一同勢を揃へて西大門に向つて徒步する事となつて、五臺の轎車は既に乘込員が極つて居る、されば吾輩も小田原君も靴を脫いで朝鮮草鞋を穿く、老公は朝から日本草鞋、古怪庵氏は既に絡で作つた朝鮮草鞋の古い奴を穿いて得意がつて居る、悠圖〱して居る中に大方の人は出發し一行四名は殆んど殿の有樣、但し馬車はまだ後に殘つて居る、一里程歸ると後から馬車が乘り越した、田中屬と外一人は朝鮮馬を雇つて乘て居る、田中氏の大男が大刀を脊に佩き小さき韓馬に跨つた處は一寸奇觀であつたが、それが吾等一行を二三丁乘越すと眞逆樣にズデシ堂と落馬した、ドコやらから萬歲の聲が起る、負け嫌ひの氏は知らぬ顏の半兵衛否半四郎を極め込んで再び乘馬し、一鞭高く消へるが如く驅け去つた。

▲放歌高吟 約三里の道を歸つた頃日はトップリと暮れた、朝鮮草鞋が足を喰つて痛む事甚しい、されど生れ附いての痩我慢、何んとも言はず益々步調を早める苦しさ、古怪庵氏は吾輩が持參せし正宗の殘りで盛んにラッパをやつた爲か、最前から少々廻つて居る樣だ、日が暮れたを幸ひ銅羅聲を張り揚げて琵琶の樣なものを唸る、老公も低音で、詩吟や、淨瑠璃をやつて居る、而して兩氏とも切に吾輩を促す唄ふ口は持て居ても、イッカナ應じてやらぬ、之れには何も理由は無い草鞋に喰はれて足が痛むから歌どころでないのである、斯くて獨立門を通過し西小門を潜ぐつたのが七時三十分、三時間半で五里の道を歩んだのだから健脚と言はゝ云ふ可きである、宿に歸り沐浴して食膳に向つたのが丁度九時、晩酌の美味かつた事は何んとも言へなかつた。

足掛け二ケ年と云ふものは一里と纏まつた道も步んだ事のない吾輩を往復十里の處へ引張り出し、其上有益なる講話を聽かして呉れた廣田文學士外地方部有志諸君に感謝すると同時に本行の豫想外に成功したのを祝する、兎にも角にも王都を距る五里の僻地へ百五十人の勢を揃へた廣田文學士も又名譽とせねばなるまい(完)



金華山兼定(二)

やがて草鞋に脚半穿、夏のことだから着換の單衣を二枚風呂敷に包んで首に結付け、親父から小遣を二分貰つて大切に懐中なし、ブラ〱高輪の海岸までやつて來ると、品川屋とした小さい船宿がある、此家をヒヨイと覗ひて見ると、兼ねて見知りの八造と云ふ船頭が寢轉んで居る、此八造と云ふのは七兵衛の三十間堀の家の近所に太田屋と云ふ船宿があつて其所に長年奉公して居たので七兵衛とは極く懇意だ 七「オヤ八造さん 八「オヽ七さん、旅支度で何處へ往くんだ 七「是れから美濃へ寄つて京都まで往くんだ 八「串戲ぢやアねゑ、一人で往くのか 七「固より一人さ 八「お前京都までは百五十里もあるんだせ、好い度胸だな、然し急ぐ旅でもあるめゑ、少し寄つて休息しなせゑ 七「ウン、別に急ぐ旅でもねゑから、夫れぢやア休まして貰らはう、お前さ

らく太田屋さんへ厄介になつて居たが漸く此所へ家を持つやうになつた、時にまだお前は十六か十七だらうが京都へ往くなんて、何用で往きなさるんだ 七「ナーニ、私は生れ付いての刀鍛冶が好きで、其内にも小柄を鍛つことが好きなんだ、親父は大工にしたがるけれど、私は大工になる氣はない、そこで今度親父に暇を貰つて京都へ往つて修業したいと思ふのだ 八「夫りやア感心だの、時に詰らねことを聽くやうだけれど、京都まではなか〱路用も掛るだらうが、親父さんから貰らつて來なすつたかな 七「なか〱貰らう所の騷ぎぢやアねゑ 八「ぢやア何うして往くんだ 七「途中人の袖に縋つて恵みを受けやうと思ふのだ 八「夫りやア不可ねゑ、途中は夫れで宜いとしても京都へ往つてから困らうぢやア、一つお前に錢を儲けさすから私に手傳つて呉れ 七「ウム、其奴は難有ね、全体何樣なことをするんだ 八「ナーニ外でもないが、此間盂蘭盆の時に、精靈樣へ供へた眞菰や茄子、瓜の類を皆此の海へ捨てた奴が浪に打上げられて岸へ澤山上つて居る誠に勿体ない話で如何にお人に食へるのを打捨つて置くのは勿體ないことだから、私が皆夫れを拾つて、茄子と瓜は樽で詰めて味噌漬にしてある是れが十樽以上もある、眞菰は六七百枚許りある、所が明日の晩は廿六夜待で、此海岸は大變に賑はふ、月の出るのを待つのだから皆立ち足勞れる、其處へ此眞菰を賣りに往くんだ、之れを敷いてお月樣の出るのをお待ちなさいと賣つて歩くんだ、乾度賣れる、儲かるせ 七「ナール程、考へたね、夫りやア宜らう手傳ふことにしやう」と昔の人は呑氣なものだ、七兵衛其晩は八造の家へ宿り込んだ、此の八造と云ふのもまだ漸く二十四になつた許り血氣盛りの男で女房はまだ無い、母親が一人ある、元から高輪に住んで居たんだが父親に早く死なれて一時家を畳んで自分は三十間堀の船宿へ奉公して、母親も一時他へ奉公して居たが、今度年季が明けて家へ歸り母親を引取つてなか〱稼いで居る、年に似合はず金を儲けることが上手で、始終何か金儲けはあるまいか〱と考へて居ましたが、眞菰や茄子、瓜などの流れて來るのを見て一ト儲けしやうと考へ付いたのはなか〱旨い、さて翌日は八月廿六日天氣が朝から滅法好い、實に日本晴のしたやうな快晴七兵衛に八造の兩人、今日こそ大儲けをしやうと思ふから、朝早く起きて眞菰を奇麗に揃へる、汚れて居るやつは雜巾で之れを拭ひ、日の暮れるのを待つて居る、日中は暑いからグツスリ晝寢をした



東京電報

▲**閑院宮の御對顏**　聯合　演習御統裁の爲め埼玉、群馬兩縣へ御出張中の閑院第一師團長宮殿下御歸京本日　天皇陛下へ御對顏あらせられたり(廿四日)

▲**大藏證券の償還**　大藏　省と日本銀行と交涉の結果今廿五日償還期に當る大藏省證券三千九百万圓の中二千万圓現金を以て償還し千九百萬圓は六月廿九日借替償還す其日步は現在より一厘下げ九厘とする事に決定したり(二十五日)

▲**載濤殿下と禮砲**　濤貝　勒殿下の一行は愈々來る廿八日午前十一時三十分御入京に就き陸軍省にては我が皇族の禮砲に準じ奉迎送を爲すに決定したり(同上)

▲**不敬問題の取調**　株式　界の不敬流言問題に關し各新聞通信社の經濟擔任記者十餘名其筋の取調を受けたり(同上)

▲**不敬事件の處罰**　株式　市場に於ける流言事件は之を利用して株式界を攪亂せんとしたるものなるは明かなるも未だ不敬を以て論ずべきに非ず針小棒大に流言したるに過ぎざれば多分警察處罰令に依り處分さるるに止まるべしと(同上)

▲**統監政治の廓清**　中央　俱樂部は決議を以て桂首相に向ひて
統監留守中に於ける政務の與廢
曾禰統監の非合邦態度
コールブランの橫暴
宋秉畯任免問題
に關する意見を問ひ合邦斷行の急を說き曾禰統監を誡り廓清を圖れと迫まりたるに桂首相は大体に於て之に同意し且つ之等の諸問題に關しては既に成算ありと言明したり(同上)

▲**韓太子の御祝宴**　今廿　五日韓皇の誕辰日に相當するを以て韓太子には午前十時より鳥井坂御用邸に於て岩倉宮相以下各宮內官其他の祝賀を受け正午高大夫金武官伊藤式部次長以下各御用掛に御陪食を賜ひ御種々の餘興あり盛會なりき

▲**兩勅令案の通過**　中學　校長任用敍令案及判檢事任用改正勅令案は提案の通り二十三日樞密院を通過せり改正官制は二十七八日頃發表の筈なり(同上)

▲**諸税法の實施期**　本日　官報を以て地租改正法外税制整理法公布され四月一日より實施(同上)

▲**平井副總裁の渡歐**　平井鐵道　院副總裁外二氏は來る五月上旬西比利亞線を經て倫敦に赴き數日滯在の上瑞西に於て開催の第八回萬國鐵道會議に參列し夫れより歐米各地の鐵道を巡視すべし(同上)

▲**農商務省官吏淘汰**　農商務省　鑛山局所管に於て行政整理の結果技師九名事務官三名技手十八名書記十八名都合四十八名の減員を斷行する事に決し夫々諭示免官の手續中なり

歐洲電報

▲**露墺協商と歐紙**　露墺　兩國の妥協は歐州新聞紙の歡迎する所となれり(廿四日)

▲**塞耳維王の着露**　塞耳　維國王ピーターは露都に到着せられたり(同上)

▲**露國會の新議長**　露國　オクトブルスト黨首領ヒチユコフスは國會議長に任命せられたり(同上)

▲**伊國內閣は超然**　伊國　サンニン內閣は辭職せり而して後繼內閣は多分超然內閣にして後に至り前首相キオリツチの再來を見るべし

地方電報

▲**鴨綠江の渡船開始**　二十四日より鴨綠江渡船を開始したり(二十四日新義州發)

雜報

▲**乾元節祝賀の次第**　●●●祝賀參內　二十五日午前十一時石塚長官を始め文武勅奏任官乾元節祝賀の爲め昌德宮に參內敬意を表し正午韓皇より陪食を賜はりたり▲署名問安　各皇族、承候官、各部大臣其の他文武官宮內官等同刻參內署名問安せり▲德壽宮御成　韓皇、皇后には祝賀を受けさせられたる後御豫定の如く御同列にて午後二時敦化門出御御順路を經て德壽宮に行幸啓相成り同五時三十分還御あらせらるる筈なり▲官民祝賀　漢城府民會にては同會內に裝飾を加へ會員一同祝賀の誠意を表し又張漢城府尹は廣通館に日韓官民を招待して祝賀宴を張れり夜に入り李總理の主催に係る大夜會は惇德殿に於て開かれたるが頗る盛會を極めたりと

▲**佛總督の新方針**　左に去る二月十一日着任したる佛領印度支那代理總督ピキエー氏が口外したる新方針にして我保護政治に參與する人達の參考にもと左に轉載しぬ

●余は妄りに美事を約束する人にあらず然れども實行を期する人なり故に約束する以前に必ずまづ研究すべし(嘗に前總督クロビユカウスキー氏が容易に約束したる主義に反するが如し)

●東京の治平開發に最も重きを置く東京の繁榮の爲めには鑛山の開發を謀ることと必要なりとし之が爲には運搬方法の新設改良等須要の事業を攻究すべし又土地灌漑の大工事を起し農產の增進を謀ることと必要なり但し之が爲めには財源を要す故に土人は必要の負擔を承諾せざるべからず但し賦税徵收の方法に關しては十分の改良を加へて土人に意志を疏通せしむることを要す

●地方官は土語を解して土人通譯の弊を免るることを要す

●土人の教育制度改良に重きを置き土人の品位智育を進め以て文明の普及を謀るべし

●地方官は親しく土人に接し懇切を以て之を過することを要す決して倨傲以て土人を卑下すべからず

通管の行政整理

年度替りと共に統監府に合併し統監府通信部と改稱さるべしと傳へられたる通信管理局は昨年來增俸に伴ふ冗員淘汰の計畫を爲し病死又は辭職の爲め欠員を生ずるも之を補欠せざりしのみならず諭示免職の形式に於て人員を減じつつありしと既報を經たるが年度替りも間近となれる爲め近來冗員淘汰極めて活潑となり判任官にして馘らるるもの頗る多し今回の退官者に對しては慰勞金として月俸二ケ月分を支給し別に退官賜金として一年在職のものには俸給の二分一を給與する由にて退官者中二度就職を希望する者ある時は官等を遞減し通信事務員として低級の俸給を與へ來年度に於て之を採用するの傾あり退官賜金慰勞日を支出し更に淘汰したる冗員を採用するに於ては事實上經費の上に却て贅費を要するが如き疑あるも退官賜金慰勞金の支出は本年度に屬し二度事務員として採用する向は來年度の經費に屬するを以て結局行政整理の趣旨に適合する次第なるが右の狀況なるを以て風評に上りしが如き大淘汰に至らずして終るべくその淘汰方針も事務上の技倆は第二として欠勤日數の多數を標準としつつありといふ風評の如く統監府に合併せば管理局在來の會計課の如きは全廢せらるべく池田現管理局長は參與官として通信事務を總監することとなるべしといふ

韓國政府の官報

韓國に於ける總べての秩序に就ては隨分甚だ歎き者あるが中にも彼の官報の如きは最も顯著なるものに屬す現に日々所載の記事に見るも法律勅令閣令部令の大を始めとし小は告示辭令の如き孰れも官報頒布日と實際の發令日と二三日甚しきは十數日の相違を示めし而かも本令は發布の日より施行す抔とあり一般人民は官報所載によりて始めて之を知悉するの外なきにさりとは悠長も亦甚しと云ふべし元來法令頒布式によれば官報に則ち唯一の周知機關にして一般人民が法令の存在を知るは官報に依るの外なし然るに事實は以上の如く斯くて以て其效力を完ふし人民に執行を强制せんとす被治者の迷惑知る可きなり既に斯く悠長を極むるかと思へば昨二十四日夜配達し來りたる官報の如き翌々二十六日附の官報にして其間二日の懸隔あり而して其內容を見れば十五日附乃至二十四日附の告示にして特に關税局告示の如きは航業者の最も注意すべき事項に屬す加之官報も亦刊行物の一種にして新聞雜誌の類と共に郵便條例の認可を受け第三種郵便物として取扱はるるものなり若し新聞雜誌にして二日後のものを郵送せば定期刊行物違反の處分を免れず此一事以て如何に韓政府の施爲する處不秩序亂雜なるか推知し得べし文明の智識を包藏すと誇稱する日本人官吏がヨボ化せるは何人も認むる處なるが彼の貴重なる官報までヨボ式となれるは實に呆然たらざるを得ずと某氏は語れり

●**青年會の密會內容**

二十四日午後七時三十分頃より鐘路青年會に金麟、劉秉必及び會員學生約五百餘名集會し劉秉必は「徒學而無力及不如無學」と云ふ演題にて約二時間演說して散會したるが同夜十時頃劉秉必金麟、閔濬鎬(耶蘇教附屬敬信學校學監)青年會員尹相俊外數名の重なる役員等は同館樓上の學監室に會合して約一時間密議したる由にて密議の要旨は韓國の獨立基礎を固めて他國の壓制より脫せんとするには須らく耶蘇教を以て韓國の國教と爲し全國民に布教して其教勢の盛なるを恃むより外に策なし多數の宣教師等の說を聞くに韓國二千萬の同胞が誠實に耶蘇教を信仰して其救ひを待たんとする意あらば幾千万の經費を要するとも極力韓國をして目下の窮境より救ひ出し獨立を保證し與れるとのことなれば此際極力布教に盡力し國難の恢復を期すべしと云ふにありしと云ふ

●**財政と各部の企畫**

多士濟々たる韓國政府各部は所管政務に就て幾多の經綸を抱有する由なるが而して其施設如何を問へば財政不如意の爲め如何とも爲し能はずと逼ぐるを常とせるが農商工部水產局に於ても北韓漁業發展の爲め沿岸各地に氷藏庫の設立及三角航路に準ずる氷藏船の設備或は水產試驗場設置等各種の案中又は建議ありて孰れも其必要を認むるも到底財源を得るに由なく結局泣き寢入の外なしと云ふ其他各部に在ても皆此の如く現狀の推移に余裕なき由なり

●**貿易商人と耶蘇教**

在韓宣教師等は進興會社長李圭恒を信徒に加入せしめ以て之れと關係ある數十萬の會員を勸誘せしめば本年中に百萬位の信徒を得る位は易々たる事なりと六千圓を以て彼を買收すべく彼等中のジレットバンカー等は屢々李と往復し居るも李は未だ之に應せずといふ

●**乾元節と府尹招宴**

昨乾元節に際し漢城府尹張憲植氏は南大門通廣通館にて午後二時より祝賀の宴を張りしが來賓は日韓の高官紳士數百名張憲植氏の發聲にて韓皇の萬歲を祝し三浦理事官來賓日本人を代表して挨拶を述べ三時半散會盛會なりき

●**地方行政と中央部**

日韓關係の開展如何に拘はらず龍頭蛇尾の現制度は破壞され大に地方行政の刷振に重きを置かるべきが曾禰統監の歸任次第中央部吏員に大淘汰を行ひ其中見込あるものは地方へ配置すべしと

●**大久保大將の參內**

二十五日の乾元節祝賀の爲め大久保軍司令官は十時副官を隨へ午前十時半官邸を出で昌德宮に正式參內をなし謁見を給り御挨拶申上げ退出せられたり

●**神學校の設立計畫**

韓人間に於て大學設立の計畫ある由は既報の如くなるが基督青年會に於ても大學の名稱を冠する神學校を設立せんと欲し目下其協議中なりといふ

●**乾元節と間島韓民**

在留間島永瀧總領事より在間島住韓國官民一同に代り乾元節祈賀の執奏を請ふ旨の電報廿五日統監府に着したり

●**春川實業學校設置**

江原道春川郡春川公立實業學校設置の件廿五日の官報を以て發布されたり

●**安重根の傳記編纂**

天主教會牧師佛國人李德輔は安重根の親戚某と共に同人傳記を編纂中也と

●**烟草會社披露宴**

東亞烟草株式會社にては從來官烟を輸入販賣し居るが今回京城に製造所を設置し原料を日本より輸入して製造することになりたれば其披露の爲め二十七日午後六時より擁翠樓に官民數十名を招宴する由なり

●**敍位**

本月二十二日付を以て左の通り小松、國分兩氏敍位せられたり

敍正五位　從五位　小松綠

敍正五位　同上　國分象太郎

航路統一の必要

韓國沿岸三航路の經營は釜山、雄基の北面航路は其成績稍や良好にして經營上多大の困苦は感ぜざるも釜山汽船會社經營は釜山木浦航路は收支僅かに相償ふ位の事にて今の處今後の發展は難かるべし就中酷しきは福田氏經營の木浦群山間航路經營にして收支相辨せざるのみならず事業上多大の負債を有し到底持續の見込立たざる由なるが要するに今日の如き小經營の樹立は海運發展上決して策の得たるものにあらず就ては當局間に於ても今後機運の熟するを俟ち一統せる機關の下に經營せしめん希望を有せる者も鮮からざる由なれば是等問題に對しては多年を俟たずして良好なる解決を見るに至らんかと某航海業者は語り居れり

●**民會委員會の模樣**

既報の如く京城民會豫算審查委員會は二十四日午後三時より開催せしが委員紛擾云々の通信記事に關し曾我委員より取消申込の動議を提出し其語る處によれば十八日委員會を開催し翌十九日の休會を決議せる如く掲載しあるも右は十七日の誤なりとて譬へ一字と雖も之を取消す權利ありと執拗き遂に之に決し更に歲入審査に入りたるが其結果戸別割に就き昨紙所報の如く中流以下に輕ふせんとの查定方針を決して二十二等より二十六等迄を五十錢宛減額し之に依りて生ずる歲入缺陷約千七百餘圓は上級戸別割の增額及歲出に於ける臨時購入費の削減並に其他にて多少の減額を試み補足する事となし尙ほ現火葬場は規模甚だ狹少に失するを以て增築に決し午後九時散會せり而して同會は十七日を以て殆んど全部を終了したるが尙ほ二十六日開催し是にて可決確定する筈也

●**高女第二回卒業生**

二十四日擧行したる京城民團立高等女學校卒業式に於ける卒業生及優等生は左の如し

卒業生(身長順)

牧山清子、大關錦子、小島操、桑原よし、前田ふじへ、山北肥佐、寺嶋浪子、伊集院澄、米永ときの、矢野みね、楠本春枝、田中きせ、坪井政子、石橋綾、遠藤くら、槇うめ、石原愛、山縣きくよ、石橋愛

優等生(イロハ順)

石原愛、坪井政子、楠本春枝、矢野みね、槇うめ(以上卒業生)原初枝、本多幸、平山孝子(以上三年生)渡邊とみ、中村榮、野瀬ゆき、笹島鐵枝(以上二年生)勝木一枝、山口多喜子、山下花子、三宅公子(以上一年生)

●**漢江水運保險契約**

漢江水運に保險を附するの問題は久しき懸案なるが愈に神戸海上保險會社より取締役田中省三氏來韓して實地調査する處ありし結果近く保險の契約を履行するの運びに至るべしと云ふ

●**仁川港設備委員會**

仁川築港調査委員二十名を選定せし由は既報の如くなるが右は橫濱港に於ける例に倣ひて仁川港設備委員の名稱に改め其一回委員會を來る二十八日午後一時より民役所樓上にて開く筈なり

●**韓國葉錢大坂輸送**

韓國政府にて引揚げたる葉錢は曩に龍山に於て拂下入札に附せし結果二三三、七二九貫(耳白混合)大坂佐藤島伊兵衛、一五五、七六一貫(小黑)大坂山中直七、一〇五、九八〇貫(黃)高岡殷若兵衛の三氏に約六十萬圓にて落札したるが右は近日中汽車便に依りて仁川に廻送し來り大坂商船會社汽船にて大坂に輸送せらるる筈なり

●**秋山騎兵監仁川行**

秋山騎兵監は廿五日午前九時三十分仁川驛に着し櫻本副理事官岩崎民長其他の出迎を受けて理事廳に入り暫時休憩の後市中を巡視し即日龍山に引返せり

●**外國語學校卒業式**

來る二十八日午後一時より外國語學校第三回卒業證書授與式を擧行する筈

●**京城小學校卒業式**

民團立第一尋常高等小學校に於ては二十五日卒業證書授與式を擧行したり

●**秋山中將御苑拜觀**

目下滯京中の秋山騎兵監は隨員三名と共に二十六日昌德宮內秘苑拜觀の筈

●**宇佐川總裁の出發**

東上中の宇佐川東拓總裁は二十五日東京出發歸韓の途に就きたる筈なりと

●**木村韓銀理事歸京**

總會參列の爲め東上したる韓國銀行理事木村雄次氏は二十四日頃歸京したり

●村上則貞氏入京　全羅南道警察部長の同氏は廿四日入京不知火旅館投宿

●鈴木技師の入京　長崎縣技師鈴木小太郎氏は二十四日入京山本旅館投宿

●氏野檢事の入京　平壤控訴院檢事氏野德太郎氏は廿四日入京山本旅館投

●上林局長の歸任　入京中なりし上林參政局長は廿四日出發開城へ歸任す

●●**取消**　本月廿四日貴社發行第三百六十四號京城新報記事中京城民會の紛擾と題する記事は事實相違の點有之候條全部御取消相成度此段申込候也

明治四十三年三月廿四日　京城居留民會豫算調查委員長　中村再造

龍山通信　(廿五日支局發)

▲木越第六師團長は豫定の如く昨二十五日午前九時十分龍山發列車にて出發東上せられたり▲秋山中將は昨二十五日午前八時四十五分龍山驛發下仁せられたり▲昨二十五日午前八時五分新義州發列車にて英國陸軍大佐フイテンタルドン、少佐レクトニー、同テンツリー大尉ビストン、同テンチンの六氏京城に向ひし旨鐵道管理局に電報ありたり多分同夜入京せし筈▲龍山民團議員稻垣甚氏は一昨辭任せり▲龍山民會は一昨二十四日午後二時十分開會前日に引續き第三號議案四十三年度歲入出豫算案を附議し會議費、通り可決、教育費は修正案より更に百五十圓を削減し一萬六千四百十三圓となり即ち八百四十八圓を削られて通過、老松町角道路修築案は採擇されて敷地院建設費一千五百三十七圓追加は公衆衛生の爲め諸員諸氏の盡力を多とす此他の費用は委員修正通り可決確定然り而して豫算總額六萬六百九十圓は三千二百六圓を削られて五万七千四百八十四圓といふ處にて成立▲龍山民團にては治道の大方針なるもの決定せし由にて費用十萬圓若干年の繼續事業として溝渠修理道路開通を計畫し目下調査中なりといふ但し調査は何箇年の繼續事業なるやツイ問合するのを失念せり▲昨二十五日午後一時より桃山遊廓區域取擴げの可否調查委員會を開けり▲二十七日龍山民長は龍山居留の壯丁を小學校に集め徵兵身体受驗に關して諭示を爲す筈

▲治外法權▼

韓鐵豫算が議會へ現はれんとする前に關係各地方より運動委員の東上したのは中々多數であつた其運動の方法と云ふは朝の六時起て大臣、職員、政客の訪問、說明、懇願、强願中々一通りでなかつた、殊に新聞記者の同情を得るに付ては大に勉めたものだ▲東上委員の運動が何の効果があつたかと單純にけなして仕舞へば夫迄だが當時在京して委員等運動の狀况を目擊して居た記者は運動効果の如何よりは諸氏の熱心さ勉強さに感服した▲當地に事業上關係を有する如才なき大倉喜八郎氏は一日東上委員一同を江戸見坂の大倉美術館に招待し、自身美術品の說明をなし且つ午餐を供して大に歡待せられた、館內に來賓紀念名簿あり、館婢恭しく委員諸氏の面前に該名簿を捧げて記名を求む、京城の曾我、大村、龍山の大村、群山の坂上、元山の渡濱等順次筆を走らせた、字は中々見事に出來た、併し館婢は物足らぬツーに見て居た▲理由は後で判つた主人大倉氏の胸込に因れば當日の來賓は韓國の大紳士であつた、で韓國の紳士は何れも正三品以上の有品者と心得て居る館婢は委員諸氏の記名に從二品正三品の無いのを不思議に且つ物足らなく思つた、夫れも其筈名簿を繰返して見ると茲には從一品朴某ソーには正三品金某▲用事が果てしから木浦の齊木氏が委員一同を一日羽根田の羽根田館へ鴨獵に案內した、鴨が三百許り鴨場へ降りた、夫れと云つて委員一同は手網を持つて鴨に向かつた、鴨の曰く關東の鴨は午備朝鮮の棕馬等に捕られはせぬと一聲高く突つて飛去つて仕舞つた、夫れが却つて興になつて一日の情遊が出來た▲まだ書けば澤山あ

朝鮮の風習(四)

▼珍妙の事許り

死体は死んでから三日目に棺に入れる棺は概して質の良い木を用ひ厚さ四枚板を以て之れを造り、棺の外部は黒色に塗る。貧者と富者とは造り方は違ふが色は黒だ、内部は富者は絹布を張り貧者は厚い紙を貼る。[illegible]

入棺して了ば死者の頭を南に向けて安置し[illegible]喪主は棺側に居るので[illegible]家族は皆棺側に號泣し[illegible]翌四日目に家族は[illegible]

[illegible]墓地の撰定は朝鮮人に取つては中々重大なる問題である[illegible]

[illegible]以上生れてから冠婚及葬式等の大事件は大抵書いたから次には[illegible]の御披露に及ばん(未完)

賊魁姜基東

▽衝突激戦して潰走

一昨二十四日午後七時頃松隅里憲兵派遣所捜索隊上等兵一名補助員二名は抱川郡外所面初頃橋里に於て端なく賊魁姜基東の率ゆる十六名と衝突せしが敵も去るもの多数を頼み頑強に抵抗し激戦四十分に渉りしも精鋭なる我兵に敵する能はず南方に潰走せるを以て之を追撃したるも折恰も日没にて遺憾ながら長蛇を逸し終りぬ

不敵の李鎭龍

▽部下を率ひて海州に去る

近来の大賊魁李鎭龍は變幻出沒しつゝ嚴重なる吾官憲の眼を晦ましつゝ身は累卵の[illegible]らざる如き大膽不敵[illegible]去る二十日宿將金貞[illegible]三十餘名を率ひ平山[illegible]白川洞附近の地)に[illegible]方面に向ひ立去りた[illegible]天を驅り地を潜る術[illegible]了すべき遠からず天[illegible]ち來るべし

大豹を生捕る

▽宮内府に献納せんとす

[illegible]附近に於て生捕りたる[illegible]毛澤斑點の美[illegible]して貴揚せざるはなき[illegible]察使は是を宮内府御[illegible]献納せんと其旨電[illegible]りたり

失策二人女房

▽韓妾本妻を走らす

龍山東町三丁目五十九番戸に住む材木[illegible]といふは十年前にさ[illegible]を貰ひ今年二十才の男の[illegible]しく暮らし居しが去[illegible](二七)とて熊本縣生の[illegible]も同町内のことゝ[illegible]營み居たる飲食店に[illegible]暮し居る上に頗ぶる好[illegible]て知つたり待つて居[illegible]進むでモノになり散々[illegible]た上或日野村に向ひ[illegible]嬉しさに○を揃めしや[illegible]はづして嬉しがつて見[illegible]に野村は相好くづして[illegible]つもを自宅に引取りし[illegible]内儀さんは姉さん妾[illegible]仲好くして朝夕貴郎の[illegible]たぬ間に本性の毒相を[illegible]早く富るのみか果ては[illegible]いて騒るより野村も終[illegible]を本宅に置去りにし[illegible]る二十三日附近に一戸[illegible]しにつもは聊か當てが外れたるも扨そんなら斯う爲様と云ふ目的もなく自棄が手傳う茶碗酒に醉ふて女中や皿小鉢に當り散らして居る二十四日の朝然うとは知らぬ野村は何うして居ることかと様子を見に行きしを留守せる妻君は既に氣を廻して女中を迎ひに遣りたるにぞ更らぬだに堪ね難き悋氣の炎に氣も狂はん許りなるつもは矢庭に本妻の所へ踊り込み摑み竜りしにぞさはの止まらず足袋跣足のまゝ龍山警察署へ駈け込み何うぞ何分の御說諭をと願ひ出たので判つた事情が右の通り幸さん確固しなさいよ串戯ちやアないよ

●れ羽織さんの失敗

▽飲まぬ酒と貰ねぬ剰錢

時は一昨夜の九時頃の事西小門通りを悠々のれ羽織さんがあつた、丁度點された軒燈の色合さへ毛色の異つた眞紅の日の丸は云はずと知れた露西亞淫の前を通り懸ると硝子越しの扉の裡から「カムイン」と聲も美くしい、とれ羽織さんは何の氣なしに覗き込む見れば姿は聲よりも更に美くしい「れ遊びなさい」と今度は日本語である、得も云はれぬ其の笑顔に魅せられでも爲た者かれ羽織さんはふら〳〵と這入つて了ふ軈てデスクに向つて對座かふや「貴下飲む」と、女が切り込む、男の頭は横に動く「チョッコン?」と女は首肯いて莞爾、同時にれ羽織さんの眼の前には美くしい手掌が何かを無言で要求して居る「財か」と云つて懐中から一圓紙幣を一枚「ホラ」と投げ出す「ウエル〳〵、よろしい」其の際は直に女の懐中に轉宅、と、今度は衝と立つて中腰となり「貴下可男前あります、ビール飲む宜しい」とムつた、「否私はビールは嫌ひだ」と眉を顰める、「女の素振は急に變つて「貴女酒飲まぬ歸る宜しい」茲に至つてれ羽織さんも當惑した正乎一圓の棒振りも口惜しいと渋々取出した廿錢の銀貨一つ「ツラ私は酒は飲まぬから」と差出せば再び元の微笑の態度「サンクユ、ベリユエル」と獨りで呟きつゝその財は懐中に捻ち込みながら起ち上つた、而してカーテンの裡に隱れたと思ふと……「ボンボン」……女は二本のビール栓を拔いて「貴下ビール飲む宜しい」と來た者だ、男は呆れてポカンとなる「私は酒は飲まぬと云ふに「酒飲まぬ、夫れ可けません歸る宜しい」到々再び一圓一枚が男から女の懐中に宿替へする女は頗るホク〳〵者で「貴下紳士あります妾し惚れる」と堺肴にと運ばれた「貴下菓子代出す宜しい」と何事も只現金引替ねの手つ取り早さ、偲ら迄乘り懸けてはれ羽織さんも爲方がない、到々三枚目の圓幣を投げ出して「そら剰餘を持つて來い」紙幣は又もや電光の様に女の懐中に踊り込む「貴下ゼントルマンあります、剩錢貰う宜しくない妾皆貰う宜しい」斯くて二人の姿は消ねた確か男は頭掻きつゝ

●鯨の行き倒れ

▽福岡共進會に出品

去る廿三日釜山入港の天祐丸は博多出帆巌原佐須奈を經由して來釜の途次同灣を距る十五六哩許り冲合即ち佐須奈灣との殆んど中間南方に當り巨大なる黒影の浪の間に〳〵浮流するを認め未だ曉明の頭にて且つ三哩許り隔たりし爲め難破船ならんと救助の目的にて船首を轉じて漕ぎ寄せたる處難破船にあらずして巨鯨の死体が漂流しつゝあるものなるより直ちに船舷に結縛して拾ひ來りたるが長さ四十尺以上あり致命傷はボート用のモリ一本右肋部に殘り居れるが上皮は既に腐爛し居るも全形を存し居る故に午後棧橋に繋留して一般に觀覽せしめ再たび博多に回漕して開會中の福岡共進會に出品せん計畫なりと船長は語り居れり

●韓人の船泥棒

仁川内洞居住の李三七と云ふは一昨日午後十時頃濱町一丁目海岸に繋留中の永樂方同居金任平永石組帆船に忍入り白米六斗を窃取して逃走せんとする處を取押へられ仁川署にて取調中なり

●千條花蘭分譲

最近流行の最も觀賞せらるゝ盆栽花なり信州延德局區内日本農藝會にては今回優等五年生つぼみ付き一株稍消費として郵劵廿錢封入申込ば直に送附する筈

●微笑會

本土曜日午後三時より京城商業會議所樓上に於て圓山太嶽禪師の無盡燈論提唱例會あり參會隨意

目と耳

▲壽座 長々大喝釆を拍したる壽座曾我の家一座の喜劇も愈々明後廿八日を以て打揚となる由なるが例に依て本晩の出し物は左の如し

一番目	御祝儀貰の入船	一場
二番目	乞食茶屋	三場
三番目	島臺	二場
四番目	アンハッピー	二場
五番目	忠臣藏大序より七段目迄	

▲京城座 同座本晩の替り狂言は「雲間の明月」にして其の役割は紳士山縣五郎(伊井)大工吉公(花井)書生山本初(千葉)金太(川崎)杉山さだ子(金澤)杉山つゆ子(桂木)書生山田(田中)公證人チヨングレープ(高山)山崎武夫、芦貝老公(高島)家令槇山登(上田)たぬき(潮)車夫(八島)權兵衛女房たま(秋岡)馬丁(光田)藝妓小吉(三好)侍醫濱田良齋(美崎)府屋權兵衛、松山權臣(瀬川)

▲四十七分間に御覽入候

廓のうはさ

▲仁川歌舞伎座 伊東文夫一座の本晩の替り狂言は此度新に脚色されたる「仁川の怪賊」八場を演ずる由なり

▲新町大桝屋の力彌拍子は此の頃何事か打悄ぎ居るとの事なるが此の原因を知る者は本町通りの横櫓さん許りとの噂さ▲天眞樓ド松園しることにては時候柄妹れ艶のみにては近頃の來客到底應接に遑なしとかにて今や姉妹總掛りの御勉强とは御繁盛の事かな▲米倉町和樂園にては何とか呼ぶ凄艶なる一美人ある爲め嫖客の絕へ間なしとの事なれば粋士方一度は拜顔の榮擔はれては如何にや但し過日來同楼は梅毒病院へ通勤し居たりと聞けば其處は御要心▲若し京城の藝者で其技倆並に藝妓としての品格に於て代表約好一對を求めなば花月のれゑんと若一とであらうさりとて此兩妓が京城で一番宜ろしいと云ふ譯けではないのだ▲それから名ろき對照だ▲此間壽座の棧敷で清華亭の政菊とれ多福との月旦を露て居た三人連のデレ助が居た甲は政菊の方が美人だと云い乙と丙とはれ多福の方が愛らしいと云ふ互に相譲らざる様子であつたが結極藝妓としては相格の美よりは愛嬌の方が肝要だと云ふので遂に札はれ多福に落ちた様だ▲拘翠に今度江戸妓のパリ〳〵が一人出るそうだ▲同樓の繁春は顔は成つて居ないが可愛い妓だと某粋人が褒めて居た▲井門本店へ三平と云ふ年增が出るそうだ、此妓は踊りが得意で中々の上物であるとの噂(廓雀)

三面月旦 女振り

我が社は明日の紙上より婦人月旦女振りと題して京城に於ける上は奥様より下は嗚ア左衛門に至る迄諸階級の女性を網羅して日々取り替へ引き替へ愛讀諸君に紹介せんとす而も是が内幕に至つては曰く奥様振り、曰く内儀振り、曰く女將振り等或は貞淑なる夫人あり時には俠に婀娜たるれ神さんあり又は温雅なる内儀あり局面は毎日轉化して興味津々若しそれ是が嗚ア振り等に至つては抱腹絕倒實に哄笑を禁ずる能はざる者あるべし乞ふ試みに明日よりの紙上に見よ

▲平民文庫▼

▲廿五日午前十時頃南大門の方から自轉車を走らせて京城寫眞館の前へ來蒐つた人があつたが折惡しく向ふから彈人の豆腐賣子がウント詰め込んだ箱を擔つて行つて來たのとアナヤと云ふ間もあらばこそ美事に衝突して大分豆腐が壊れたので談判開始となつた處へ飛び込んだのは日の丸魚市場の粋な兄ィてある▲萬事俺に任せねゑ、全体壊れたのは幾個だ、何に二十丁は滅茶〳〵だと、スルト一丁三錢として六十錢だ其の內自轉車の若ねのが二十錢出しな夫れからヲボは五丁が所を損しね夫れで合はして三十五錢は出來た譯だ其所で殘りの二十五錢は俺が出して滅茶〳〵豆腐を引き取ると爲て手を打ちねな▲と大岡様擬きの裁判振りで芽出度和解したが韓人對日人の紛料事件も斯う云ふ風に解決すれば譯はねゑのだが…(風聞子)▲稼いッ(小僧)▲本町六丁目の稲田藥店と荒物商店の中間に家屋を建築して居る所が其の家が馬鹿に道路に出洒張つて居るアノ儘だと市街の体裁を損ずるのみか通行の妨害にもなる故此れは一つ稲田藥店の角のポストと荒物屋の角の電柱と一直線に區劃せられんことを望みます(市民總代)▲れ羽織生の失策を伺う見る小僧係▲子曰く生や痴なり誨う可らず渠か奸なるをのみ見て其の智を觀ず生や愚なる可きを知りて憐む可きを識らず(嗤ふ)●●(小僧)▲巴城館の受付程横着者は無いモ少し氣を付けないと主人の爲にならんぞ夫れに引き換へ京城ホテルは親切だ(明生)

吉凶鏡

本町五丁目 三一館判斷

三月廿六日 舊二月十五日 三碧佛滅庚寅閉 三りんぼ △一白 平凡なり金屬の業務に吉談判及調停には避くべし△二黒

在韓水戸人士に告ぐ

水戸浪士が憂國の餘り櫻田の快擧を敢て爲したるは今より半世紀前なり、爾後大義名分明かとなり政權朝廷に歸り國運隆々以て今日に至る、朝廷死して餘榮ありと云ふべし、朝廷に浪士に贈位の恩典を賜ふこと軟風に襲はれんとするの時には今や外交多端世人稍もすれば當つて東京やまと新聞社主催となり來る四月十日を期し九段招魂社に於て浪士の爲に五十年祭典を擧行せんとす、蓋し吾人の意を得たるものと云ふべし、依て思ふに在韓水戸人士は浪士と郷を同ふする者該祭典に與かるの特權を有す故に本社は此際水戸出身の諸氏に寄附金を請ひ之を一括してやまと新聞社に贈り祭典費の一部に加へんとす幸に御贊成あらんことを希望す、

寄附金申込期日 四月三日限り

申込所 京城新報社

●食糧品糶市立相塲

南大門 食糧品糶市場報

廿四日(出來高二百六十五圓二十錢)

本蜜柑	四箱	三、六〇〇	馬鈴薯	十貫	一、四〇〇
夏蜜柑	平籠	三、八〇〇	薩摩芋	同	一、五〇〇
林檎	立籠	二、五〇〇	日大根	同	一、二〇〇
梨(上)	一箱	三、八〇〇	地澤庵	一丁	二、八〇〇
靑薇	同	二、三〇〇	蓮根	十貫	六、〇〇〇
水菜	十貫	一、六〇〇	煎子上	同	三、〇〇〇
玉葱	同	一、四〇〇	煎子中	同	八、〇〇〇
生姜	一箱	一、五〇〇	煎子下	同	六、〇〇〇
ウド	十貫	二、九〇〇	鹽鯣	石油	四、五〇〇
地大根	同	一、〇〇〇	鹽鮭	箱入	
	十貫	八、六〇〇		十貫	五、〇〇〇

●天氣豫報

自廿五日午後六時 至廿六日午後六時

南西の風晴

廿四日(華氏) 最高温度 四八、四 最低温度 二六、一

廣告

●大和町鑛務局長官舍敷地々均工事 右四月二日入札ニ附ス(建築所)

●釜山輸出牛檢疫所張石道路其他新設工事 右四月十一日入札ニ附ス(建築所)

不用建物賣却

一、景福宮、昌德宮其の他に散在する本府不用建物總建坪約四千餘間右賣却す希望者は本府主殿院に就き詳細の手續を問合せ且つ實地熟覽の上來る四月十日迄に同院に申出でらるべし

隆熙四年三月二十六日 宮內府

追て同院出頭の際は昌德宮金虎門にて皇宮警察署係に就き入門手續を爲すべし

一、民團立第二小學校々舍新築工事

此入札保證金見積價格百分ノ五以上入札者ハ滿二年以來斯業ニ從事スルモノニ限ル

右請負希望ノ者ハ當民團役所ニ就キ入札規則契約書案仕様書繪圖面熟覽ノ上來ル三月廿八日午前九時マデ入札書ヲ當役所ニ差出スベシ

此契約ハ當民團民長古城菅堂

明治四十三年三月廿四日

京城居留民團役所

廣告

●和洋珍草花類各種々

●庭園用樹類各種

●果樹木苗木類種々

●山林用苗木類種

●盆栽及觀賞植物類

●庭園築造工事請負

時下春暖之候各位益々御賀候就而弊園例年の通り地より淨山輸入致し安價候條愛國諸君目下移植候期此期を逸せず多少に陸續御購求の程願上候尙弊園は盆栽類草花類の極完便に且つ僅少の損料の方に貸付け仕る可く御ハガキにて御通知被下度

京城旭町一丁目第四

萬樹園 植田

改名御披露廣告

各位益々御清榮のだん奉賀候陳ば先年より四方御客樣方の御引立により今日の如き繁昌に相成候桃仙閣義今般都合により同閣主い子殿より同店一切を妾しに於て引受ける事に相成り名も遊春閣と改め一層改良を加へ殊に藝妓仲居等も內地に於て經驗のある者を數名呼び寄せ御きげん相伺はせ候間何卒〳〵御引立て被下度殊に料理人は內地にありて斯業に充分鍛能し御試みあられん事を伏て願上候是非一度御來遊被下御屆入れ候に付

龍山桃山桃仙閣跡

遊春閣

福山ひさ 電話二〇三番

馬車配達

純良

牛乳

●●●滋養と牛乳

●●●衛生と消毒

京城東四軒[illegible] 岡野牧[illegible] 電話[illegible]

內外科 小兒病 梅毒淋病 入院隨意

京城壽町三丁目 高井醫院

院長 陸軍軍醫正 高井貞治 電話[illegible]

清酒 澤の鶴

給付入用

望みの方は本社營業部へ申出づべし

三月廿五日 京城新報社

●最上醬油●

龍山祝町(電話三三八番)

高橋醬油釀造所

美術半襟帶締其他紐類各種
京城明治町一丁目
電話一千四百〇九
ゑり徳商店

◀無料紹介欄▶

人事部

●被雇度 三十四歳貨物取扱及通關手續に經驗あり多少英語を解す會社又は商店官衙を望む 氏名在社(一〇)

●農園 野菜類 協同者を求む但し經驗ある確實なる人 電話一二四二番方 ないとう

●書生採用 廿歳以下確實なる保證人ある者を求む 旭町二 堤法律事務

●店員入用 廿歳內外保證人を要す 龍山元町三丁目 日韓組米店

物件部

●貸家 平家一戸建間數四間及長家一戸間數三間場所南大門外吉野町

●瓦葺平家 建坪十五坪乃至十八坪の家至急買入たし 電話七四番へ

●電話買入 (姓名在社)

●ポインタ獵犬牡一頭歸國に付格安讓る 姓名在社

廣告

玆齋流割烹 並に歌舞伎辨當
材料の豊富と技術の熟練は割烹界に於ける鮓店の特色に有之候
京城南山町一丁目
す津孫 (電話一五〇二番)
出前の儀は電話又は一報次第即刻持參可爲申候

最新療治 マッサージ治療 (並に産婆開業)
◎主治概要 腦神經諸病、胃腸諸病、神經痛、關節諸病、產婦人科諸病、うちみ、くぢき、りよまちす
其他醫藥効なき頑固癈疾を治療す
京城太平町二丁目大漢門通光化門寄
長瀨軍醫監東京仁壽病院マッサージ部
京城出張所
助產の需に應ず 產婆荒川元子

御料理席貸
和樂園 高田家 (電話九三七番) 米倉町
○料理は高率御手輕にして高尚
○園內は至極閑靜にして別世界
○土地高燥にして見晴し京城一
○大廣間の設備も有之候間集會又は宴會等に適當に候

京城鐘路の喰物は何んだろー!
材料所前の洋食店鐘路軒の
松茸めし
酒一本 外和洋料理五品付
一人前六十錢
價が安くてうまくてはらこたまるよ
皆さん一度たべてごらんなさい
又和洋料理和洋食共辨當の注文するとすぐいつでも持つてくる極く便利ですよ
電話壹四二九番 客用有ます
◎監獄辨當の證入も引受ます◎

廣告

民事、刑事、其他總ての訴訟事件の鑑定
貸金證券、賣掛代金、約束手形、爲替手形、其他總ての債權は事件の大小に不拘現金買入
負債、貸金、銀行、會社の整理引受及相談等は懇切依賴に應ず
貸金請求、家賃取立、小作取立、其他總ての民事、刑事訴訟事件
右は迅速確實に依賴者の滿足を旨とし事務を取扱ふを以て事件の大小に不拘御來談を乞ふ
京城旭町二丁目百四十五番戶
堤重四郎法律事務所

營業科目

韓官衙御用品調達
和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類

委託販賣

東京ランバード商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
藤田合名會社
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約
釜山韓國鹽合資會社食鹽特約

本社 京城明治町二丁目(電話二三〇番)
出張所 東京京橋南鍋町一丁目十番地 電新橋三六九二

明治廿年七月創立
東京火災海上運送保險株式會社
資本金一千萬圓
京城代辨店 本町四 山口呉服店 電話九番
事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

諸荒物世帶道具一切
其他和洋蠟燭 アサヒ サッポロ ビール 精白米
右大勉強仕候に付陸續御用命仰付られ度伏奉願上候
京城本町六丁目
日用雜貨 御問屋 西崎嘉七本店
電話二一〇番 電署(エカ) 振替貯金口座韓七番

論より證據 來て見りやわかる
京城壽町二丁目
食道樂
電話九四四番

特約販賣
味噌醬油製造元 漬物問屋
京城本町五丁目
大上商店 (電話二五一番)
自製和洋酒、酢、乾物類、銘茶、鑵詰、乾物、荒物
食料品各種、ビール、米、鰹節、塩辛、日本
製 食料品各種特約販賣
御用命に依り商品切手調進仕候

明治四十二年度第十三回決算報告

一 保險契約高三千九拾四萬七千圓
一 責任準備金其他諸積立金三百拾四万餘圓

○貸借對照表

資產

科目	金額
未拂込資本金	二二五、〇〇〇・〇〇〇
現金	一〇・五六一
銀行預金	七七九、五四五・八一八
郵便振替貯金	五、四五〇・六六五
別途預金	一、八一四・四一〇
貸附金	一、一七〇、七九三・六九〇
有價證券	四五一、〇五二・〇〇〇
不動產	四七八、三〇九・七一四
什器	一〇、六一五・四九六
貯藏品	三、四一四・六二四
未收保險料	一三八、六七八・六九八
支店出張所貸	三一、四四四・五八八
各代理店貸	五四、一六六・四五八
假出金	八、一六五・一七一
新築費假拂	一二三、五三九・一一二
合計金	三、四八二、〇〇一・〇〇五

負債

科目	金額
資本金	三〇〇、〇〇〇・〇〇〇
準備積立金	一一、八〇〇・〇〇〇
責任準備金	三、〇四四、五九四・五六三
支拂備金	一三、三四七・八三〇
利益配當附養老保險確定配當準備金	四三、二七七・四一一
利益配當附養老保險利益配當準備金	三、〇〇〇・〇〇〇
財產減價償却積立金	八、七〇〇・〇〇〇
預り金	四九五・六七六
假受金	五、九二六・三六二
社員身元保證金	二三、一〇四・七六五
未拂配當金	七七八・四〇〇
本年度利益金	二六、九七五・九九八
合計金	三、四八二、〇〇一・〇〇五

○損益計算書

收入

科目	金額
前年度より繰越金	二、二六五、〇一六・二五一
保險料	一、一八七、五一五・〇九六
諸利息財產賣却評價益及雜收入	二八三、六六六・四一七
合計金	三、七三六、一九七・七六四

支出

科目	金額
支拂保險金	一八九、九〇五・四〇〇
解約拂戻及其他返戻金	二一、九六三・七六一
營業費	三七五、〇〇一・〇九八
財產賣却並評價損	一三、七五八・二二〇
次年度へ繰越責任準備金其他	三、一〇一、二一九・八〇四
合計金	三、七〇九、二二一・七六六
差引利益金	二六、九七五・九九八

之を處分すること左の如し

科目	金額
準備積立金	一、五〇〇・〇〇〇
財產減價償却積立金	二、二〇〇・〇〇〇
利益配當附養老保險利益配當準備金	一、五〇〇・〇〇〇
特別準備金	一〇、〇〇〇・〇〇〇
役員賞與金	二、五〇〇・〇〇〇
株主配當金(年一割)	七、五〇〇・〇〇〇
次年度へ繰越金	一、七七五・九九八

右之通候也
明治四十三年三月十三日
愛國生命保險株式會社
專務取締役社長 鈴木萬次郎
專務取締役 中野實
取締役 朝山義六
同 小林林之助
同 宮本仲
同 肥塚龍
同 清水彥次郎
監査役 日下義雄
同 兵藤芳矩
同 服部嘉十郎
追而監査役の任期滿了に因る改選を行ひたるに何れも重任せり

御紋上繪、染物、洗張、西洋洗濯
もの、しみぬき、かけつぎ
京染悉皆取扱
葉書にて御一報被下候へば早速店員罷出精々御便宜に御取扱可申候
京城古市町
京屋 主任 島田嘉吉

めし道樂 開業御披露
鯛 松たけめし 一人前三十錢
あなご 竹の子めし おなじく
鷄 ゑんどうめし おなじく
なくて七癖と申しますから隨分色々の道樂もありますが就中めし道樂ほどよい道樂はございません、此道樂を發揮せん爲め、わざ〳〵大阪表からわり拔きの美人を呼びよせ釜のまゝ御座敷の眞中に持運び御客樣の御嗜好に任せ按排加減を程好くして差上ます何卒御賞味かた〴〵御來遊の程ひとへに願入申ます
尚多少によらず出前も御便利に迅速に御屆け仕りますから御用命の程御願申上ます
大和町三丁目 梅の家眞向ひ
明月
電話七三五



東京足袋
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升
本店東京
京城大和町一丁目(日の出橋際)
大和屋 藤井出張店
電話二百〇五番
明治町勸商場內ニモ出張店アリ

京城南山町(元日本人倶樂部)
京城ホテル
長電話 一二三番
電話 四九二番

資本金 一千萬圓
積立金 五百四十萬圓
株式會社 第一銀行京城支店
電話一一番 六一二番
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
本店 東京市日本橋區兜町
支店及出張所 大阪、京都、横濱、神戶、名古屋、四日市、下關、新大阪町(東京)、兵庫、伏見、西區(大阪)、釜山、
其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ(紹介ヲ要セス)
京城旭町一丁目六十七番戶
辯護士 岡田榮
(電話三九八番)

韓國銀行
本店用 當直用 用度係用 來客用 臨時建築部用
電話 (長)三三一 一、二六〇 二六一 (長)三三一 六一二 一、一〇六 三三二
支店出張所 仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、群山、木浦、馬山、咸興、城津、鏡城、安東縣
爲替取引先 東京、大阪、横濱、神戶、京都、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大阪西區、松山(以上日本)釜山、公州、光州、晋州、開城、海州、沙利院、博川、寧邊、義州(以上韓國)大連、(清國)
當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外普通銀行業務に屬する預金貸金爲替等精々確實親切に取扱申候

辯護士 特許辯理士
岩田仙宗
京城明治町二丁目(佛國教會前)
電話三五四番

時節柄敷物及夜具等新調仕り室內の設備も相整申候
御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉強可仕候間倍舊の御引立奉願候
京城南山町四丁目
原金旅館
(電話一一一五番)



京城光化門通
淺田洋服店
店主 大島專藏
(電話四百十三番)

胃腸消化新劑
澱粉消化 ヂヤスタリン
蛋白脂消化劑 ヂゲスチン
錠劑十日分(三十粒入一瓶)二十錢
散劑一オンス入(一瓶)二圓二十錢
錠劑十日分(三十粒入一瓶)三十錢
散劑一オンス入(一瓶)二圓四十錢
右は最近內地に於て急激の需用を來したる名聲嘖々たる世界無比の理想的絕品にして所謂賣藥には無之候
各地有名なる藥店に於て販賣す
●大韓醫院御用藥
韓國一手賣捌元 京城光化門通 大島專藏

京城大和町 … 場